

ダンシング・チャップリン (2011)

メディア 映画

ジャンル ドキュメンタリー

製作国 日本

色彩 Color

時間 131分

初公開日 2011/04/16

公開情報 アルタミラピクチャーズ=東京テアトル

【解説】

「Shall We ダンス？」「それでもボクはやってない」の周防正行監督が、フランスの振付家ローラン・プティがチャップリンを題材に、ダンサー、ルイジ・ボニーノのために振り付けた作品『ダンシング・チャップリン』を、映画のために再構成してフィルムに収めた異色のバレエ映画。監督の妻でもあり、2009年にバレリーナを引退した草刈民代もルイジ・ボニーノの相手役として全7役をこなし、36年のバレエ人生の集大成ともいえる最後のダンスを披露。

【クレジット】

監督 周防正行

振付 ローラン・プティ Roland Petit

出演 ルイジ・ボニーノ

草刈民代